

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2009-120742(P2009-120742A)

【公開日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2007-296935(P2007-296935)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月17日(2010.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発泡体を形成する発泡樹脂と粘着性を有する粘着樹脂とが混合した発泡層を有する粘着シート。

【請求項 2】

前記発泡層の表面に、前記粘着樹脂と同系素材である同系樹脂が付着している、請求項 1 に記載の粘着シート。

【請求項 3】

前記発泡層の表面に、吸着力を有する複数の表面気泡を有し、

前記複数の表面気泡の少なくとも一部には、前記同系樹脂が付着している、請求項 1 又は請求項 2 に記載の粘着シート。

【請求項 4】

前記発泡層の内部には、複数の内部気泡を有し、

前記複数の内部気泡の少なくとも一部には、前記同系樹脂が浸透している、請求項 1 から請求項 3 のうちの一項に記載の粘着シート。

【請求項 5】

前記粘着樹脂は、アクリル系樹脂であり、

前記同系樹脂は、水溶性アクリル系樹脂である、請求項 1 から請求項 4 のうちの一項に記載の粘着シート。

【請求項 6】

発泡体が形成される被発泡樹脂に発泡剤と粘着性を有する粘着樹脂とを加える工程と、前記被発泡樹脂を発泡することで、発泡体を形成する発泡樹脂と前記粘着樹脂とが混合した発泡層を形成する工程とを包含する、粘着シート製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0016】

また、発泡層を表面に気泡が露出されて吸着力を発揮する吸着孔を有するものとすれば、その吸着孔の吸着力を利用できる分、粘着性樹脂塗工量を少なくして糊残りを極力抑えつつ、吸着貼り付け強度を高めることができる。さらに、粘着性樹脂を発泡層の表面及び／又は吸着孔の壁面に浸透塗布すれば、吸着孔を塞がないので、その吸着力を損なうことなく、粘着性樹脂によって粘着性能を高める分、吸着貼り付け強度を高めることができる。また、本発明は、上記の粘着シートの発泡層の表面に塗布する粘着性樹脂又はその粘着性樹脂の希釈液を提供する。

また、本発明による粘着シートは、発泡体を形成する発泡樹脂と粘着性を有する粘着樹脂とが混合した発泡層を有する。

ある実施形態において、前記発泡層の表面に、前記粘着樹脂と同系素材である同系樹脂が付着し得る。

ある実施形態において、前記発泡層の表面に、吸着力を有する複数の表面気泡を有し、前記複数の表面気泡の少なくとも一部には、前記同系樹脂が付着し得る。

ある実施形態において、前記発泡層の内部には、複数の内部気泡を有し、前記複数の内部気泡の少なくとも一部には、前記同系樹脂が浸透し得る。

ある実施形態において、前記粘着樹脂は、アクリル系樹脂であり、前記同系樹脂は、水溶性アクリル系樹脂であり得る。

また、本発明による粘着シート製造方法は、発泡体が形成される被発泡樹脂に発泡剤と粘着性を有する粘着樹脂とを加える工程と、前記被発泡樹脂を発泡することで、発泡体を形成する発泡樹脂と前記粘着樹脂とが混合した発泡層を形成する工程とを包含する。